

# 6月定例会

## 市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたずねるものです。

6月定例会では、6月13日に一般質問が行われ、通告順に5名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は、「匣瑳市議会会議録」をご覧ください。

### 企画財政等

**問** 長期定期権貸借契約であるリースについては、地方自治体においてメリットがあるのだろうか。リースについての基本的な考え方と、現在のリースの利用状況は。

**答** リース契約に当たっては、購入した場合とのトータルコストの比較や事務の効率化等を考慮した上で、執行額の軽減や安定したサービスを受けられることなどを基本方針としています。

本市における長期リースの利用状況は、平成24年度当初予算編成時で29件の契約をしています。主なものは、電算システムソフトウエア、コピー機などの事務用機器、小・中学校の教育用パソコンのほか、市長車、議会庁用車のリースなどです。

**問** 市の今回の人心一新、多くの幹部職員が定年で退

### 環境

**問** 自然エネルギー活用による発電の推進を、市の今後の方針・施策に盛り込み積極的に進めてほしい。

本年4月1日から始まった市住宅用太陽光発電システム設置補助金は好調のようだが、経過と実績は。また、太陽光発電のため、市の所有地や耕作放棄地にパネルを設置することについて、

職し、新たに若い職員が入職した。これを踏まえて、市の一大転機、好機ととらえて、新たな匣瑳市づくりに着手しなければならぬと考えるが、各部署の重要課題にどう取り組むか。

**答** 企画課からは、市全般の重要施策についてご説明します。

企画課は、市総合計画中期基本計画の推進と進行管理に併せて、市長マニユフエストに係る施策への反映による事業調整を命題と考えています。

課題の1点目は、急激な人口減少の抑制という行政課題です。これまでも、出合いの創出事業等を実施し、今年度は、本市定住促進施策等の事業を実施する予定で、人口減少抑制に取り組んでいます。

課題の2点目は、電算関係で、稼働開始後6年を経過し、機器等の入れ替えを行っていますが、導入に伴うコスト削減やデータ管理

研究してほしい。

**答** 市の太陽光発電施設設置助成制度は、当初予算において20基を見込んでいましたが、現在は予定数に達しているため受付を控えています。県から追加要望調査がありましたので、新たに20基の追加を要望しました。今後、県の予算配分を見きわめて、その上で本市の補正予算による追加募集を検討してまいります。

市有地や耕作放棄地に、大規模な太陽光発電施設の設置事業をすぐに取りかかるとは難しいものと考えています。また、実際に事業を実施する際には、自然環境の破壊につながるような慎重に取り組んでいく必要があると考えています。

**問** 銚子市・旭市・匣瑳市が将来にわたって共同で、一般廃棄物の処理事業を行う方針で進めているごみ処

理施設整備計画について、進捗状況とこれからのタイムスケジュールは。

東総地区広域ごみ焼却施設建設計画検討委員会委員として、有識者2名がそれぞれ委員長と副委員長に選任されたとのことだが、どういった方々か。

**答** 3市で行っているごみ処理施設整備計画の今後のスケジュールは、東総地区広域ごみ焼却施設建設計画に基づき、平成24年度にはごみ処理基本計画の策定、基本的な事項の選定を行う予定です。

2名の委員の公職名は、千葉科学大学危機管理理学部の教授と千葉大学の名誉教授です。今後、当委員会では処理方式の選定、一般廃棄物ごみ処理基本計画やごみ処理施設整備基本構想の策定を行うことから、施設建設の具体化に向けた重要な委員会と認識しています。

### 教育

**問** 県学校給食会に求められる役割が、食材の物量確保から食材の質や安全を第一にした調達へと変わってきている。

また、近年、食材の高騰により給食費が値上がりしており、単に物資を供給する機関というだけでなく、保護者の負担軽減を考慮した運営の見直しを図る必要があるとの声があるがどうか。

**答** 米の価格は、平成23年度後期から大幅な値上げ

が、平成23年度は、平成23年度後期から大幅な値上げ

### 一般質問の質問項目

- 日色 昭浩 議員
  - 消費増税について
  - ゴミ処理場建設について
  - 子どもの医療費助成について
  - 図書館業務の充実について
  - 生涯学習課のあり方について
  - 八日市場駅の利便性について
  - 職員の採用について
- 武田 光由 議員
  - 通学路の安全
  - 円滑な柔道の授業
  - 学校給食
  - 介護保険制度改定
  - 介護ボランティア制度
  - 地域福祉
- 川口 健男 議員
  - 市の重要課題について
  - 市のリース契約について
- 田村 明美 議員
  - 旧飯高保育所施設の利活用について
  - 新学校給食センターの給食供給事業について
  - 匣瑳市民病院について
  - 介護保険の介護報酬改定による影響について
  - 一般廃棄物処理事業について
- 山崎 等 議員
  - 自然エネルギー活用による発電の推進について
  - 災害対策見直しについて
  - 市民病院あり方検討委員会について
  - 市民病院の運営について

がありまして。両学校給食センターでは、その対策として、市内米穀商組合から購入していた市内産コシヒカリの約半分を、味もよく比較的安価な県産米の市内産フサコガネにして対応しています。今後もこのような高値が続くことも予想され、他の賄い材料費への影響が出てくることもあり、安全でおいしい給食が提供できるよう調査研究してまいります。

**問** 集団登校中の児童が交通被害に遭う事故が各地でたびたび起き、各学校は対策をとっている。明日を担

う子どもたちが登下校中に悲惨な事故に遭わないことを願い、2点について伺いたい。

1点目として、本市における通学途中の事故の実態は。2点目として、教員、保護者、PTAなどによる通学路総点検がなされているが、安全対策の取り組みは。

**答** 平成22年度は、中学生と小学生が1件ずつ自動車と接触する事故があり、平成23年度は中学生が2件で、自転車と接触し軽傷を負う事故が起きています。今年度は、青信号で横断歩道を渡っていた

小学生の列に自動車と接触し、軽傷を負う事故がありました。これらの事故については、病院での検査・治療の後、当日又は翌日に登校できています。

通学路の点検については、各学校で管理職や各地区の担当、又は下校時の引率時等、日常的に実施しています。

また、保護者やPTAの地区役員、住民からの情報等により、危険個所の把握に努めています。更に、市内校長・園長会議で通学路の危険箇所の調査及び安全指導などを指示しました。